

学校点描

ガラス修理に来た北村さんが、4つの中学校が統合するまでの苦労について、熱心に語ってくれました。
《M中学校》
NO. 7 H27. 9. 16
担当：教頭

県内の地方選挙戦が終わりました。来年の参議員選挙から、選挙権は18歳以上に引き下げられたことにより、文科省では高校生の政治活動を原則学校外で認める方向性をだしました。政治への関心の原点は身近な自分達の生活や将来の自分達の社会に、本気になって考えていくことが大切になっています。どのような地域や社会、国づくりを目指すのか、高校生にも権利とともに責任が課せられる社会となったのです。そのために、高校生になってから、「政治に関心をもて」と言っても遅いでしょう。

中学生のうちから、社会で問題になっていることを考えたり、地域の問題に関心を持つような力を育成しなくてはなりません。

何気なく見ているテレビニュースの話題を、保護者自身が話題にし、茶の間の話題にする、そんな家庭で育った子どもは、社会への関心が高いという結果があります。先の全国学力・学習状況調査の中で、『インターネットやテレビニュースを見ますか?』という質問に、『よく見る』と答えた中学生の割合は、全国で49.1%、山形県は51.0%、最上中学生は、42.7%でした。

救われた言葉

今週の金曜日は、新生徒会の役員を決める立会演説会と生徒会役員選挙が実施されます。生徒が自らの生活を見直し改善する、その活動の中心となるのが生徒会です。話によると、高校では生徒会役員になる人が誰もいなくて困っている学校が大半なんだそうです。

保護者の皆さんは、今現在、お子さんが何の生徒会専門委員になっているか知っていますか? 通知表などにも書いてありますが、仕事の内容については是非、聞いてみてください。専門委員会に所属していなくても、学級の教科係にはなっていると思います。学校は集団生活の場です。一人ひとりに何らかの役割を担って貰わなくては、学校生活は成り立たないように出来ているのです。J. F ケネディ大統領は、その就任式で『アメリカが、あなたに何をするかではなく、あなたがアメリカに何をしてくれるかだ』と言った演説はあまりにも有名です。国づくりも学校づくりも似たところがあります。

わたしの事を言うのはちょっと恥ずかしいんですが、わたしは中学校のとき、生徒会長に立候補して見事落選したんですね。だから、生徒会の役員に対する目は、少々嫉妬を含んでいるのかもしれないかもしれません。落選した事を生徒に言うと、生徒は喜んで笑うんです。でも、当時の自分は、真面目に母校を愛し、考えていたわけで、落選したショックは相当でしたね。

先週から毎朝、昇降口まえに、立候補者の2年生と、責任者の3年生が立って、選挙活動を兼ねてあいさつ運動を行っています。現生徒会長のM・Hさんが、「昨年先輩から、『あいさつはしっかり相手の顔を見て挨拶をするんだぞ』って指導されていたんです。」と、自分が引き継いだことを後輩に伝えようと頑張っています。現応援団長の、K・Yさんに、「責任者も朝から一緒についてくれて大変だね」と言うと、「昨年の今頃の僕よりもしっかりしていますよ。」と答えました。

1学年でも、学年の中での生徒会が組織されようとしています。集団を引っばるリーダーとしての勉強が始まります。自分が最上中学校や生徒会に、何が貢献できるか、自分が居て学校や学年集団が動くということを体験する勉強が始まります。

学校でも、家族でも、地域でも**自分があてにされているんだ**と実感できる生徒は、幸せを実感していきます。自分の活躍する場がある、居場所があることは、何か自分がこの集団の役になっているという実感から起きてくるのです。

保護者の皆さんのご家庭では、この幸せを実感させる方法はどのようにしていますか？

「兄（姉）ちゃんのくせに！」と言ってきたことを、「兄（姉）ちゃんのおかげだや！」に変えるのも、1つの方法ですね。

お蔭様で、わたしは選挙落選の後も、非行やぐれることはありませんでした。

落選が決まった日、生徒指導の先生であり、わたしの部活の顧問でもある先生が、わたしを職員室に呼んでこう言うんです。

「残念だったな。でも、うちの部にとってはよかったよ。」って。

わたし、この言葉で幸せをつかみました。

----- きりとりせん -----

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp